

「絵本」と「木の彫刻」を活用したアートギャラリーの開設

【取組の背景】

当社は、2024年11月で設立30周年を迎えるにあたり、その記念行事の一つとして本社ビル2階を全面改装のうえ「絵本」と「木の彫刻」を展示したアートギャラリーを開設しました。

本件ギャラリーは、本来、従業員の感性を養い価値創造・発想スキルの向上を目的として取組、社内ミーティングルーム、取引先との商談の場としての活用を予定していましたが、社会貢献も踏まえて一般市民へ無料開放することとしたもので、地域の教育・子育て、文化・教養醸成の場となればと考えています。

「絵本・什器(木製の書棚・机等)」

九州大学の2005年から始まった箱崎キャンパス移転に際し、100年以上にわたり学舎で使用されていた木製什器の活用方法に苦慮されていたことを聞き、当社にて再利用を引き受けリペア(修繕)のうえ「絵本ギャラリー」として活用を行ったものです。

なお、絵本は、九州大学ユーザーサイエンス機構(2004年～2008年度)にて活用されていた絵本の一部です。

「木の彫刻」

久留米市出身の彫刻家故富松孝侑氏の作品展示施設については、すべての作品を含めて2023年に当社が取得し、その運営を承継しておりました。本ギャラリーへは、その作品の一部を展示しています。



【ギャラリーの概要】

○1階エントランスホールには大型の彫刻を展示。また、窓には小倉織のタペストリーを使用して遮光、ギャラリーエントランスらしい雰囲気を出しています。

なお、来場いただいた方には、地元の工芸品である“小倉織”の素晴らしさを再認識いただければと思います。

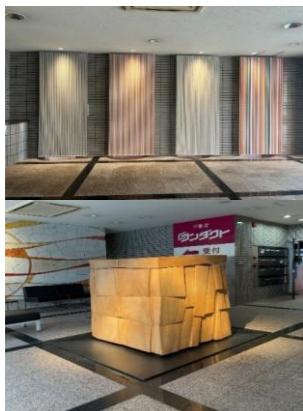
○九州大学にて学術研究に使用されていた絵本と同大学の学舎にて長年にわたり使用されていた木製の書棚・机を「絵本ギャラリー」に活用しています。

絵本については、九州大学学術員の協力で約3,000冊を選書していただき、テーマ、作者別等で展示にも工夫を凝らしています。本ギャラリーが教育・子育て・親子の触れ合いの場となればと考えています。

○「木の彫刻ギャラリー」は、彫刻家の故富松孝侑氏の作品を展示しています。

故富松孝侑氏は東京芸術大学彫刻科を卒業、木を素材とする抽象的な彫刻を残し、その造形性は高い評価を得ておられます。一部の作品展示となりますが、芸術に触れていただき、教養醸成の場として感性を養い、様々な発想が生まれる“化学反応”を期待しています。

本社ビル1階エントランス



2階「絵本」と「書棚」



2階「木の彫刻」



【取組の着眼点】

○知識・言葉の習得、知的好奇心の醸成の場の提供

「絵本」は、子供の成長に多くの影響をもたらしてくれます。新たな知識や言葉を得て感性を豊かにし、知的好奇心を引き出してくれます。

親子にとっても大切なコミュニケーションツールとなります。親の声や温もりを感じながらの読み聞かせは、精神を安定させ、絆と信頼関係を構築します。

○感性・教養醸成、学びの場の提供

「彫刻ギャラリー」は、自由な発想で意見の出し合える社内ミーティングルーム等信頼関係を構築するコミュニティスペース、取引先との商談室として活用する傍ら、一般市民へ無料開放。芸術作品に触れることで、子供たちの感性を養う教養醸成の場として、また、ワークショップの開催により、モノづくり体験・学びの場としても位置付けています。



○親子の触れ合いの場として運営

本ギャラリーは、子供の教育・成長を日常的に手助けできる地域における親子触れ合いの場として、また、芸術に触れ、感性を養うことで様々な発想が生まれる「化学反応の場」としても期待しています。

【活動実績】

【絵本の展示のためボランティアにより本棚を整備してもらいました。】

「ギャラリーお披露目会」開催に向け、梅光学院大学の学生7名や当社グループに属する保育園のスタッフ他多数のボランティアに参加していただきました。

本棚を①あいうえお順②テーマごと③作者別と3コーナーを設けて絵本を整理。

また、一部の本棚には、作品紹介コーナーを設けました。参加ボランティアがお気に入りの絵本に“作品紹介コメント”を記した葉を挿入して展示しています。



【ギャラリーを一般公開しました。】

「絵本読み聞かせ会」と彫刻家とのフリートークも交えた「彫刻に触れる会」を開催し約40名の方に参加いただきました。午前中は、RKB毎日放送の元アナウンサーであった当社社員による絵本の読み聞かせを行い、その時ばかりは、子供たちも静かに聞き入っていました。昼食の後、当日参加いただいた彫刻家の先生より作者ならびに作品の紹介・説明があり、たくさんの方々に鑑賞していただきました。

今後、年4回程度こうしたイベントを開催予定です。ホームページにて掲載のうえ参加募集を行いたいと考えています。

